

2023年10月30日

株式会社フソウ

フソウテクノセンターにて近隣自治会との合同避難訓練を実施

株式会社フソウ（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：角 尚宣）は、2023年10月22日（日）、フソウテクノセンター（香川県高松市）にて、近隣の乾自治会との合同避難訓練を実施しました。

フソウテクノセンターは、南海トラフ地震などの大規模災害時に対応できるインフラを確保し、防災拠点となる体制を整えており、高松市から津波避難ビルに指定されています。今回の合同避難訓練は、自治会の方々にフソウテクノセンターをより身近に感じていただくことと、災害時の避難場所としてフソウテクノセンターの設備を確認していただくことが目的でした。



乾自治会館に集合して合同避難訓練が開始



フソウとフソウメンテック社員が誘導員役に

自治会からは35人が、フソウとフソウメンテックから17人の社員、合計52人が参加しました。今回の訓練では、南海トラフを震源とした地震発生により高松市沿岸に津波警報が発令されたことを想定し、乾自治会館を出発しフソウテクノセンター内の体育館まで避難しました。経路にフソウおよびフソウメンテックの社員を誘導員として配置することで、一人では移動できない方も安全に避難することができました。



全員が無事にフソウテクノセンターに到着



自治会の方々に施設内や備蓄品を紹介

フソウテクノセンター到着後は、施設への理解を深めていただきました。今回初めてフソウテクノセンターに足を運ばれた方が多いため、まずは「どんなところなのか」「中に何があるのか」を知っていただくことが重要でした。食料や日用品の備蓄庫、かまどとして利用できるベンチ、飲料水 20 トンを確保可能な耐震性貯水槽などを見学していただき、避難時に気になるトイレの心配がないことも知っていただきました。



かまどベンチの紹介



飲料水確保の耐震性貯水槽を見学

自治会の方々からは「近隣に安心できる避難所があることは心強い」「フソウテクノセンターを身近に感じられるようになってよかった」などの声が聞かれました。初めて訓練に参加された方々の終始真剣な姿が印象的で、感想や要望からもフソウテクノセンターへの期待を感じました。

今後も定期的に合同避難訓練を行う予定です。消火訓練や看護訓練の構想もあり、自治会と協議を続けていきます。

株式会社フソウについて

設計・施工・運転管理・メンテナンスにおいてデジタル技術を活用し、上下水道事業全般を展開する「水の総合企業」です。設計・調達・施工と管理・保守を請け負う建設事業および建築設備事業、資機材の調達・流通・販売から管路の設計・施工一括発注方式（デザインビルド案件）を手掛ける商社事業、鋼板製異形管の製造および技術開発を進める製造事業、当社の持つ強みを活かしてグローバル展開を推進する海外事業など、各事業の専門性とデジタル技術を融合させ、水インフラサービスの持続可能を追求し、地域社会の課題解決に取り組んでいます。

本社所在地：東京都中央区日本橋室町2丁目3番1号

代表者：代表取締役 社長執行役員 角 尚宣

資本金：30 億円

創業／設立：1946 年 8 月

拠点：国内 36 拠点

Web サイト：<https://www.fuso-inc.co.jp>

－ 報道関係からのお問い合わせ先 －

株式会社フソウ

管理本部広報部

TEL：03-6880-2123 / MAIL：koho@fuso-inc.co.jp